



カシワを主とした低木林の緑と
臨元海岸の美しい自然

国定公園指定地略図



国定公園

8年越しにスタート

津軽国定公園が三月三十一日付けで
官報に告示され、八年がかりで正式に
スタートしました。国定公園では全国
で五十番目。本県では下北に次いで二
つ目の誕生です。

指定になった公園面積は、二万六千
三十二ヘクタールで、東郷平館村から
西郷岩崎村まで六町六村にまたがって
います。公園の特徴としては延長百八
十キロに及ぶ海岸、湖沼、湿原、砂丘
などのほか、岩木山、白神山、増川
岳、森林自然美が売り物となっていま
す。

本村では、とり残された自然美を誇
る十三湖と海岸段丘、海食などの海食
景観にすぐれている磯松、臨元地区の
海岸線、それにカシワを主とする低木
林の密生が指定の対象となっています。

本村一帯は第三種特別区域として風
致の維持に努めなければなりません。が
さしあたりゴミの持ち帰り運動を積極
的に進め、観光客に美しい自然を幸し
んでいただくことにしています。

期待をあつめて再選

～就任の抱負を語る白川村長～



という基本的な姿勢は変わっていません。そして、なに行政施策の推進に努力します。

四月二十七日に行われた村長選挙で白川治三郎村長が再選されました。こんご四年間、村政を担当することになった白川村長に二期目の抱負を聞いてみました。

○「わたしが初め、村政を担当したときも、再選されたい。」
○「農・漁業の零細性を克服するために、肉用牛の振興に力を入れます。また、相内地区百二十ヘクタールのは場整備事業を促進させ米づくりの近代化をはかりたい。」
○「健康で明るく住みよい村づくり」
○「十二湖の内水面漁業開発可能性調査によって、ワカサギ、ボラ、などの繁殖が有望視されていますので、育てる漁業への転換を積極的に進めたいと思います。」
○「漁港の整備、拡張を進め権現崎沖の漁労を容易に

村議補選は無投票で

成田・笹山さんに決まる



成田 さん



笹山 さん

欠員による村議会議員の補欠選挙は、無競争で成田笹山さんの二人に決まりました。
成田昇さん(57) 村議三期(旧脇元村議一期)、教育民生常任委員長
脇元漁協監事、脇元共用林野組合長等を歴任。
笹山七郎さん(65) 村議二期、脇元畜産組合長、脇元漁協理事、現在脇元共用林野組合長。

したい考えです。
○「十二湖を中心とした海岸一帯が固定公園の指定となったので、これと合せて本村の史跡・名勝をルートに乗せ、観光客の誘致をは

かいたい。
○「村民の健康を守るために診療所の整備をはかり、治療と予防の一体化を進めたいと思う。」
あたりですが、この費用は遭難者側で負担するのが、たてまえになっています。無駄な出費や、多くの人たちにめいわくをかけないためにも、入山するときは必ず、次のことを守りましょう。

山菜取りのシーズンです 遭難事故をなくしよう

ことしも山菜取りの季節を迎えました。この山菜取りで、毎年多くの遭難者を出したときには尊い人命まで

失なっている状況です。いったん遭難事故がおきると、消防や警察などから大勢の人たちが出て捜索に

- △天気予報をたしかめ、天候が悪くなりそうときは山に入らない。
- △万一に備えて食糧、マツチ、簡易雨具などを持つ。
- △家族に山のコース、帰宅時間、同行者などを知らせておく。
- △地理のわからない山に入らない。
- △山の一人歩きはしない
- △団体で山に入るときはコース、集合時間、場所などよく打ち合わせる
- △自分の体力に合った行動をする。
- △天候が悪くなったから早く引きあげる。
- △道にまよったら歩きまわらず、その地点からの連絡方法を考える。
- △帰宅時間がすぎても帰らないときは、すぐ警察か消防団に知らせる。

山火事をなくしましょう

山火事をなくし、青森県の名にふさわしいみどり豊かな森林資源を守りましょう。

たばこのポイ投げはやめる
山菜とり、レクリエーション、ハイキングなどで入山のときは、林内でのくわえ「たばここ」をやめ、吸いがらのあとしまつを完全に。

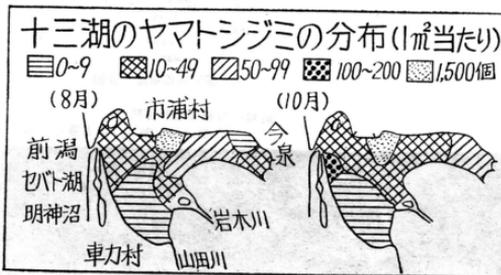
忘れるな！山の心得、火のしまつ



十三湖 育てる漁業の水域に

～内水面開発調査中間報告まとまる～

昨年八月から行われていた十三湖内水面漁業開発可能性調査の中間報告が、このほどまとまりました。



ボラ・ワカサギの養殖が有望

シジミは稚貝の保護がたいせつ

それによると①シジミは河川の工事などによる沈没物の流入、乱獲などで、だんだん少なくなる傾向にあり、これからは稚貝の保護、漁獲の方法を考えて見る必要がある②ワカサギが

多く生息している明神沼は稚魚の育成に適しているのでもの濁りなどが少なく、れば十三湖でワカサギを養殖できる可能性がある③技術的にはボラも養殖が可能で、出荷・販売体制を整え

る必要があるなどを指摘しており、十三湖は育てる漁業の水域として有効に活用できる見通しとなりました。

漁場管理・ふ化場の整備に力を

この調査は、県が北海道大学水産学部の富士昭・助教援に依頼し、昨年の八月から一年計画で、十三湖が内水面漁場として可能性があいかどうかを調べていたものです。

調査は水質、湖底の砂の粗(あら)さ、シジミ、ワカサギなどの魚介類の分布状況など総合的に行われた。このほどまとまったものは、昨年八、十、十一、十二月の四回、富士助教援が行った調査、分析した結果の中間報告ですが、八月までの今年度分の調査結果がまとまる十月にならなければ正確なことばかり

ません。しかし、富士助教援は「漁場管理、ふ化場など施設の整備に力を入れれば、十三湖を内水面漁業の場として開発できる可能性十分」と話しています。おもな中間調査結果はつぎのとおりです。

水質関係

湖面より一・五メートル境に浅い部分は岩木川などの淡水、深い部分は日本海から入ってくる海水で占められていますが、秋ごろには淡水が底層まで浸透するのでゴカイなど底生動物の生息条件に影響を与えています。

底質関係

シジミの生息に適している砂の粗(あら)い地域は



魚類の養殖が期待される十三湖

沖の瀬、岩木川河口部分で今泉、鳥谷、薄市、小田川河口は砂がこまかいうえ、有機炭素、チソンの発生が多いので、シジミはあまり生息していない。

生物関係

▽底生生物 多いのはヤマトシジミが圧倒的で、ほかイナドゴカイ、ヒモシなど六種が生息、前湖の底生動物は巻貝を除いて十三湖と同じですが、明神沼、七バト湖では淡水動物にかざられている。

▽魚類 ウグイ、ワカサギ、ボラが多く、全部で十四科二十六種にわたっています。明神沼、七バト湖はワカサギ、フナが多く、十三湖の魚類の多くは夏に浅瀬まで分布域を広げ、冬は水温の低下などで湖の中央に集まる。

地籍調査にご協力を

相内地区の岩井・赤坂を調査

村ではこれまで騙元、十三地区の地籍調査を進めてきましたが、こしは相内の岩井・赤坂地区の調査を行うことになりました。

建設課では、準備作業もほぼ終り、六月下旬から現地に入る予定ですから現地調査(一筆調査)に入る前につきのごことについてご協力ください。

□境界は刈り払いし明らかにしておく。

□登記のしていないものは早目にすませる。

□土地の境界に「自分の土地はここまで」という杭(くい)を打ち、氏名、地番、地目を表示する。

一筆調査には境界に隣接する土地の所有者に立ち会いをお願いしますが、調査の日程は所有者に通知します。

いままでの土地台帳や分限図は、明治時代に測量したもので、現地と一致しない所がたくさんあり、この調査によって現在の正しい姿に改められます。

また、この調査によってみなさんの土地の変更、分合筆などを代位登記により無料でできる場合もあります。

たばこは 村内の店で買う

年間520万円の消費税込収入がある

ハイライト一箱買えば村へ十六円六銭のたばこ消費税が入る。こう聞けばきつとおどろく人がいることでしょう。

昭和四十九年度一年間に、村へ入ったたばこ消費税はなんと五百二十九万七千円、村税収入の十五%をしめる大きな財源です。

しかし、それは村内のたばこ店でたばこを買ったの語。

そんなことから村では「たばこは村内で買う運動」を進めています。

村の本年度の予算では、この税収を五百三十万円を計上しており、小さな心がけて村の建設や課税の軽減にもつながるがため、村内のたばこ店といっしょになってPRをしています。

「出かせぎ、旅行など、家を出る時は村内のたばこ店で買いたしましょう」

電気への知識

屋内配線のあり方

屋内の電気設備は将来のことを考え、余裕あるものにしておくことが今後の生活をより合理化し快適なものにします。

居心地のよい照明をするにも、電気器具を便利に使うにも、日常生活は配線設備に大へん関係があります。

だから家屋の新増築の際は勿論、昔に建てた家を便利に使うためつぎのごことについてご協力ください。

■救急事故とは

■水・火災、震災その他の災害によって負傷したかた、または病気がかかった人。

■交通事故で負傷した人。

■公衆の場所での事故により負傷または病気がかかった人。

■傷害を受け警察官から要請のあったとき。

■旅行病者で搬送の必要があると認められる人。

■公衆の場所で陣痛をもよおした人。

■急病で生命に危険があると思われる人。



救急車が配置されました

二十四日から業務を開始

消防署に救急車が配置され、二十四日から救急業務を行うことになりました。

この救急車は日本損害協会から寄贈されたもので、救急業務はこれまで部署に頼っていただけに、かなりの配置によって救急業務のスピードアップがはかられそうです。

なお、救急車を能率的に使うためつぎのごことについてご協力ください。

■使用できない人とは

■死亡がはっきりしているとき、または医師が死亡していることと診断したとき。

■搬送することによって傷病を悪化させ、または生命に危険のある人。ただし、医師の指示があればそのかぎりではない。

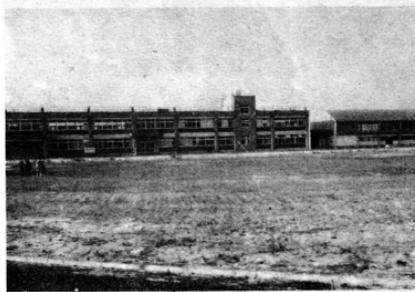
救急車を呼ぶときは、火事と同じように「一九番」に電話し「救急」と告げ「事故の場所」「事故のあらまし」「電話をたかたの氏名」を知らせてください。



民 村ガイド

こんな相談は
この課へ

- 交通災害共済へ加入したい。
- 総務課窓口係。
- 交通事故で被害を受けた。―企画室交通安全対策係。
- 村や各部落などの世帯、人口、耕地面積、家畜などの最新の統計数字が知りたい。―企画室企画係。
- 村税に対して不満やわからない点がある。―総務課税政係。
- 簡易水道の給水を受けたい。水道を修理してほしい。―建設課水道係。
- わずみ、カ、ハエ、などが多い。駆除方法や薬剤散布の方法は。―民生課保健衛生係。
- 河川敷き、道路についての聞きたい。―建設課土木建設係。
- 出かせぎ、就職、労働条件がよくないなど。―企画室出かせぎ相談所。
- 農地の売買、転用をしたい。―農業委員会（経済課内）。
- 議会に対して請願や陳情をしたい。―議会事務局（総務課内）。



教員住宅五戸完成しました

教員住宅五戸がこのほど完成しました。同校のグラウンドはこれまで、風の吹くたびに砂が飛んだり、雨が降ると水たまりができるなど困っていました。新校舎が完成したのを機会に、一万平方メートルに（約一町歩）に拡張をのぞいた全部に人工芝を張りました。また、まわりの道路も整備し、排水溝も取りつけ、南側には百二十本の松（十五年生）を植え、緑がいっぱい。これに合わせて同校PTAでも三百本の松を植えることにしています。総工費は六百七十万円で、十三小学校のグラウンドになりました。

十三小学校のグラウンドも



市浦村史（資料篇上巻）をお求めください

市浦村史資料篇上巻が完成しました。この資料篇は、東日流（つがる）外三郡誌を収録したもので今年度中には中・下巻も刊行されます。

上巻の頒布価格は普及版 1,300円、函入りが 1,500円。お求めになりたいかたは村史編さん委員会（役場企画室）に申し込んでください。

総合検診はあなたのためにあるのです

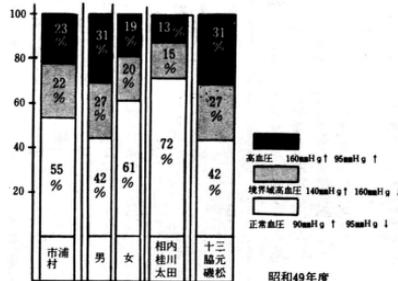
市浦村の三大死因は、1.脳卒中、2.心臓病、3.ガンと全国と同じになっています。

アタリがこんなに多いのに、自分の健康を再確認している人は何人いるのでしょうか。

総合検診をうけた人



市浦村の35歳以上の人口2000人



総合検診では結核検診、尿検査、血圧測定、血液検査(貧血、血液型)心電図診察、健康に関する指導など行なわれています。

1回の検診だけでは、高血圧とか尿に異常があるなどと診断をつけられるものではなく、何回か検査してみなければわからないのです。

そういう意味で検診は、病気の早期発見に役立ちます。病気になったら病院に行くだけでなく、病気にならないように注意することがもっとも大切なことです。

市浦村では、表からもわかるように、海岸地帯に高血圧者が多いという結果が出ており、検診で血圧が高いと発見されて治療をつけている人が何人もいます。1年に1回は検診を受けましょう。

6月の総合検診の日程

日	地 区	場 所	時 間
12 (木)	太 田	太田センター	10:00~12:00
	相内(桂川)	児 童 館	13:00~16:30
13 (金)	脇 元	脇元公民館	9:00~12:00
	磯 松	磯松公民館	13:00~16:30
14 (土)	十 三	十三公民館	9:00~12:00

- 戸沢 幸雄(青森)
- 奈良 恵子(相内)
- 小栗山 敏(五所川原)
- 山口 勝(名古屋)
- 安保なみ子(相内)



- 石森美代子(相内) 敏明
- 伊藤陽一郎(相内) 千太郎
- 秋田谷一昭(吉野) 等
- 有馬久美子(十三) 雅男
- 大江亜寿香(相内) 文雄
- 鳴海 咲子(十三) 環
- 三和 友晃(相内) 丈人
- 三浦 大(相内) 功
- 小野由紀子(磯松) 光盛
- 白川知緒子(十三) 一則



- 小倉 みな(十三) 53歳
- 上野蒼太郎(十三) 70歳
- 松上 泰蔵(十三) 63歳
- 下沢 才一(太田) 87歳
- 今 信男(脇元) 65歳
- 藤田多次郎(磯松) 87歳
- 伊南あくり(磯松) 87歳



- 高岡 広子(十和田)
- 佐々木憲人(相内)
- 安田 源一(十三)
- 木村 信子(五所川原)
- 宮本 昭子(相内)
- 新田浩一郎(長崎)
- 芳賀シゲ子(岩手)
- 奈良 勝美(太田)
- 木村 弘子(太田)
- 佐藤 範幸(岩手)
- 内 直美(名古屋)
- 大沢きさ子(桂川)
- 柳田 邦子(相内)
- 三浦 孝夫(相内)
- 森本 康代(北海道)
- 下山 義人(相内)